

2016年5月12日

アートと人類学をつなぐ、オーストラリア国立博物館の傑作群を日本初公開！

## 国立民族学博物館 企画展「ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界」

**2016年6月9日（木）から開催！**

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、企画展「ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界」を2016年6月9日（木）から7月19日（火）まで開催する運びとなりました。



本展では、オーストラリア西部の砂漠を縦断する 1850 キロメートルの一本道キャンピング牛追いルートを題材としたアボリジニ・アートを取り上げます。今から 100 年以上前、白人入植者が北部の牧草地から南部の食肉市場へと牛を移動させるために切り拓いたこの道で、先住民アボリジニは初めて白人と遭遇し、その生活を激変させることとなります。彼らは、そうした体験をどのように表現しているのか、そして絵画とアボリジニの文化とはどのような関係にあるのか、オーストラリアにおける先住民社会の過去から現在までの変化を視野に入れつつ、絵画や映像、写真等で紹介します。

### 【展示概要】

○本展の見どころ！！

#### ■オーストラリアで 22 万人を動員した展覧会が日本初上陸！

多文化・多民族国家オーストラリアが国家プロジェクトとして実現させ、本国で 22 万人を動員し大きな成功をおさめた本展が、当館を皮切りに日本全国を巡回します。

#### ■現代のアボリジニ・アーティストが 1850 キロの道を旅して生まれた作品を紹介！

本展では、かつてキャンピング牛追いルートに住んでいたアボリジニとその子孫であるアーティスト 70 名が、2007 年に 1850 キロの道を 6 週間わたって旅をし、白人の側からしか語られて来なかったキャンピング牛追いルートの歴史をアボリジニ自らが辿り直す過程で描いていった絵画を紹介します。

○資料点数は 38 点

○展示構成

アボリジニの生活の場であった砂漠の中の水場を中心とする神話的世界、ヨーロッパ人世界との接触を通じて砂漠を離れる経験、そしてそうしたオーストラリア史を通じて形成されてきた彼らの現代アートについて、7つのストーリーで展示しています。

【開催概要】

展示名	企画展「ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界」
会期	2016年6月9日(木)～7月19日(火)
会場	国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）企画展示場
開館時間	10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日／無料観覧日	水曜日 / 6月19日(日)
観覧料	一般 420円（350円）、高校・大学生 250円（200円）、小・中学生 110円（90円） ※（ ）は20名以上の団体料金／リピーターは団体料金を適用
主催	国立民族学博物館
共催	オーストラリア国立博物館
協力・助成	Catalyst- オーストラリア芸術文化基金、オーストラリア外務貿易省、在日オーストラリア大使館
協賛	キャセイパシフィック航空会社
後援	日本文化人類学会
巡回先	2016年8月6日(土)～9月19日(月・祝)：香川県立ミュージアム 2016年10月1日(土)～2017年1月9日(月・祝)：市原湖畔美術館 2017年4月7日(金)～5月7日(日)（予定）：釧路市立美術館

【実行委員長】

丹羽 典生（国立民族学博物館 研究戦略センター・准教授）

東京都立大学大学院社会科学部研究科博士（社会人類学）。日本学術振興会特別研究員（法政大学）を経て2008年より国立民族学博物館。専門は社会人類学、オセアニア地域研究。

**【関連催し物】****みんなくウィークエンド・サロン**

研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

- タイトル 「オーストラリア先住民アボリジニのアートとワンロード」
- 内容 オーストラリア西部の砂漠には、世界で最も長いとも言われる 1850 キロメートルの長さの一本道があります。その道を題材としたアボリジニ・アートについて、アボリジニの生活の変化に触れつつ紹介します。
- 日時 6月26日（日）14時30分～15時00分
- 講師 丹羽典生（本館准教授）
- 申込不要 要展示観覧券
- 場所 オセアニア展示場、企画展示場

**ギャラリートーク**

- タイトル 「ワンロード展の世界——アボリジニ・アートとオーストラリア」
- 日時 7月8日（金）14時30分～15時00分
- 講師 窪田幸子（神戸大学教授）
- 申込不要 要展示観覧券
- 場所 企画展示場



企画展「ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界」 広報用画像リスト



1. 「クンクン」を描きながら、自身の故郷について話すクームバヤ・ギルギバ



2. ニャーナ（ストレッチ湖）にて、共同キュレーターのヘイリー・アトキンスと牛追いルート沿いで描かれた作品たち



3. キルキル（井戸6番）にて、「ミニイブル（七人姉妹）」を描き始めるマトゥミリィ・アーティストのドゥルスイ・ギブスとロウズィー・ウィリアムズ



4. 《クンクン》



5. 《ミニイブル(七人姉妹)》



6. 《キャンニング牛追いルートのカントリー》

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

企画展「ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界」  
広報用画像利用申込用紙〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

 3組6枚       5組10枚

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
  - ・クレジットには番号ごとに次のとおり記載してください。
    - 【1】撮影：モリカ・ビルジャブー オーストラリア国立博物館蔵
    - 【2】撮影：ティム・アッカー オーストラリア国立博物館蔵
    - 【3】撮影：ティム・アッカー オーストラリア国立博物館蔵
    - 【4】《クンクン》  
ノラ・ナンガバ、ノラ・ウォムピ、フガイ・ワイロウタ、クムパヤ・ギルガバ（マトゥミレイ・アーティスト）  
オーストラリア国立博物館蔵
    - 【5】《ミニイブル(七人姉妹)》  
ムニ・リタ・シンプソン、ロジイ・ウィリアムス、ドゥルシイ・ギブス(マトゥミレイ・アーティスト)  
オーストラリア国立博物館蔵
    - 【6】《キャンニング牛追いルートのカントリー》  
パトリック・ティジュグライ(パプニヤ・トゥーラ・アーティスト)  
オーストラリア国立博物館蔵
  - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
  - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。